

旭川 2021年8月1日 入札公告から適用 配点表 グラウト、塗装

大項目	中項目	評価項目	評価基準	施工能力評価型								技術提案評価型							
				2.5億未満 施工能力評価型I・II				2.5億以上 施工能力評価型I				非WTO				WTO			
				II型 (難易度I)		I型①		I型①		I型②		S型		A型		S型		A型	
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、主任(監理)技術者あるいは現場代理人として従事	7.0	3.0	3.0	7.0	5.0	8.0	※企業の実績と 同点数とする	選択									
		より同種性の高い工事において、担当技術者として従事、または同種性が認められる工事において、主任(監理)技術者あるいは現場代理人として従事	3.5	7.0	1.5	3.0	1.5	3.0	3.5	7.0	2.5	5.0	4.0	8.0					
		同種性が認められる工事において、担当技術者として従事	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	過去10年度の北海道開発局発注工事の監理技術者又は主任技術者あるいは現場代理人の成績(当該工事と同じ工区分の任意の1工事)	80点以上	8.0	3.0	3.0	8.0	5.0	8.0											
		76点以上80点未満	6.0	2.3	2.3	6.0	3.8	6.0											
		72点以上76点未満	4.0	8.0	1.5	3.0	1.5	3.0	4.0	8.0	2.5	5.0	4.0	8.0					
	過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	68点以上72点未満	2.0	0.8	0.8	2.0	1.3	2.0											
		65点以上68点未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
	過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0					
		①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通奨励賞	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5					
主任(監理)技術者の資格 ※追加項目(オプション)としては残すが、標準的には評価しない	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工区分に応じて資格を追加する	選択																	
	上記以外																		
CPDへの取組	指定団体の一一定数以上の認定あり	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0								
施工監理能力の確認(書面)	当該工事での留意事項 3項目程度まで	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0												
小計			19.0	19.5	19.5	19.0	14.0	19.0											
施工能力等	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	3.0	7.0	選択									
		同種性が認められる工事の実績あり	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
		80点以上	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	8.0									
	過去2年度の北海道開発局発注の全工事(舗装含む)成績の平均点(2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績がない場合は8年度対象。過去8年度の実績がない場合は10年度対象)	76点以上80点未満	3.8	3.8	4.5	4.5	4.5	3.8	6.0	8.0									
		72点以上76点未満	2.5	5.0	2.5	5.0	3.0	6.0	3.0	6.0	2.5	5.0	4.0	8.0					
		68点以上72点未満	1.3	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	2.0	1.3	2.0	2.0	2.0					
	過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無(2年度対象)及び工事成績優秀企業認定の有無(1年度対象)、北海道開発局i-Con奨励賞(1年度対象)、国土交通省i-Construction大賞(2年度対象) (※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。)	65点以上68点未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
		局長表彰(同一事業部門限定) 旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) 北海道開発局i-Con奨励賞 国土交通省i-Construction大賞「国土交通大臣賞」 国土交通省i-Construction大賞「優秀賞」	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0					
	過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無(2年度対象)及び工事成績優秀企業認定の有無(1年度対象)、北海道開発局i-Con奨励賞(1年度対象)、国土交通省i-Construction大賞(2年度対象) (※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。)	工事成績優秀企業(対象はグラウトのみ)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5						
		「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
NETIS登録技術活用 (新技術活用の原則義務化部門は除く)	関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0								
	新技術を当該工事へ活用しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
新技術導入促進(1)型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0								
	提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0								
情報化施工技術活用 (有意義な技術があれば適用)	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
	優秀施工者 国土交通大臣賞 表彰は表彰から10年間、技能士は特級、1級、準一等級のみ加算	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							
登録基幹技能者等の配置 (登録基幹技能者等の活用対象工事のみ)	登録基幹技能者	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
	建設マスター 技能士	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5								
本支店、営業所の所在地	道内本店	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0								
	道内支店・営業所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0								
	なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
過去3年度の社会資本の整備・管理に関するボランティア活動又は災害活動	実績等が確認できること ※最大1点までとする	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
	災害協定の有無(当年度用)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
その他	防災協定が締結されている	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
	災害活動またはボランティア活動の 記載はそれぞれ1件ずつ2件までとする。ただし評価対象は1件のみ。																		
小計			18.5	18.5	18.5	18.5	13.5	17.5											
技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	選択																
		施工計画が適切に記載されている																	
	技術提案(段階選抜時)	施工計画が不適切である	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
		高い効果が期待できる	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0							
技術提案(段階選抜後)	効果が期待できる	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0								
	一般的事項のみの記載となっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
技術提案	高い効果が期待できる	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0								
	効果が期待できる	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0								
段階的選抜	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0								
	施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0								
ヒアリング	監理能力	施工上の課題に対し、効果が期待できる	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0								
		不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
減点項目	直近の措置	技術提案が不適切である	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
		施工上の課題に対する考え方等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
配点合計	技術提案等	施工計画が適切に記載されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
		施工計画が不適切である	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
配点合計	技術者	施工計画が不適切である	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
		施工計画が不適切である	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
配点合計	企業(地域)	施工計画が不適切である	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
		施工計画が不適切である	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
合計			37.5	38.0	38.0	37.5	57.5	70.0	60.0	70.0									